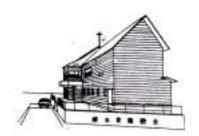
≪今朝の聖書から≫ "あなたの父と母を敬え。これ は、あなたの神、主が賜わる地で、あなたが長く生きるためである(出エジプト記20:12)"が最も大切な律法の一つに あります。この律法には、その目的も示されていて、 わる地で、あなたが長く生きるため"に救われた民の行なわな くてはならないこととされています。今朝の聖書箇所を見ます と、"だれでも、父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分の 命までも捨てて、わたしのもとに来るのでなければ、わたしの 弟子となることはできない"という御言葉を見て、"どんな意 味かを、理解しなさい"と言われているように思うでしょう。 イエス様は律法を否定されたことはありませんし、マタイ5: 17で"わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と 思ってはならない。廃止するためではなく、完成するためであ る"と仰っていいます。14:32に進みましょう。 分の力にあまれば・・・"とあります。私たちの抱えている問 題の多くはこのような悩み、心配事といえるようなことが多い のではないでしょうか。ここに、イエス様の素晴らしさ、"友 と呼んでくださる"イエス様に頼んで力を頂くという知恵が示 されているのです。私たちは父や母、家族を愛したいと思いま すし、何かをしたいと思います。しかし、直面することの一つに、何とかする力がない、ということがあります。私たちはい ったい、父や母を独力でどれだけ愛することが出来るでしょう か。聖書は2度も"座して考える"という言葉をつかって、よ く考えてみましょう、と言っているのです。私たちは、この人 を愛する力をも、イエス様から頂かなければならないことが判 るのです。また、ただ正しく、味わうことも、喜びとすること も、行なうこともできない決まりごととして、主の律法をみる のだとしたら、"塩もききめがなくなったら"と34節にある ように、人々を救いに導くことと何の関係もなくなってしまい ます。そんな時イエス様から力を頂くことが出来るのです。"規 定から成っている戒めの律法を廃棄したのである。それは、彼 にあって、(敵対による) 二つのものをひとりの新しい人に造 りかえて平和をきたらせ、十字架によって、二つのものを一つ のからだとして神と和解させ、敵意を十字架にかけて滅ぼして しまったのである。(エペソ2:15~16)"。これこそが、 子という身分を与えられたクリスチャンの特権なのです。財産 によって問題を解決しようと思い(33節)、その財産がなか なかできないことに、悩んでいることはないでしょうか。

週報

2007年 9月 9日



主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。 使徒行伝16:31

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校 毎日曜日 午前 9:00 礼拝式 毎日曜日 午前 10:30: (聖餐式 第一日曜日) 夕礼拝式 毎日曜日 午後 7:00 毎水曜日 エステルの会 午前 10:30 毎水曜日 午後 7:00 http://kusanagi.church.jp/

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26 **2054-345-4070** E-Mail grace@big.jp 牧師 村上定幸